

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)							
事業名	建設機械施工における技術の向上の推進		担当部局	総合政策局			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度／25年度		担当課室	公共事業企画調整課			
会計区分	一般会計		施策名	30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	安全・安心のためのソフト対策推進大綱			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国の建設業を支える専門工事業の技能者については、団塊世代の大量退職・少子高齢化による担い手不足、公共工事の減少による技能者育成の場の減少等により、とりわけ、災害時に活躍する無人化施工等の高度な施工技術を有する有能な技能者の確保が課題となっている。また、近年建設業の生産性や施工の安全性等の向上を目的としたICT建設技術が普及しつつあるが、建設機械施工全体の技術の向上を図るために、これら技術の活用に必要な技能、ノウハウを収集するとともに、新たな技術に対応できる技能者の育成を推進する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	当該施策の具体的方策として、専門技能育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能習得に意欲的な若手に技能習得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討する。また、中小規模の工事を受注するような地場建設業者も含めて建設機械施工全体の技術力の向上を目指し、ICT建設技術の活用に必要な技能、ノウハウについて、収集、検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	当初予算	—	16	27	19	9	
	補正予算	—	0	0	0		
	繰越し等	—	0	0	0		
	計	—	16	27	19	9	
	執行額	—	14	24			
執行率(%)	—	90%	88%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	高度な技能者の育成を行う育成プログラム(案) の周知		成果実績		—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	高度な技能者の育成を行う育成プログラム(案) の作成		活動実績 (当初見込み)	%	—	—	—
単位当たり コスト	—		算出根拠	—			
平成 24・ 25年 度予 算内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.8百万円	0.3百万円				
	職員旅費	0.6百万円	0.2百万円				
	委員等旅費	0.4百万円	0.2百万円				
	社会資本整備・管理効率化 推進調査費	18百万円	8百万円				
	計	19百万円	9百万円				

事業所管部局による点検							
	評価	項目	評価に関する説明				
目的状況・予算の 使途	<input type="radio"/>	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	高度な技能者の育成を行う育成プログラムのうち、技能達成度を評価するための評価方法は公平性が求められ、国が実施すべき重要な事業である。				
	<input type="radio"/>	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。					
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。					
資金の流れ、費目・ 使途	<input type="radio"/>	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議されている。				
	<input type="radio"/>	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。					
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					
活動実績、成果実績	<input type="radio"/>	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	高度な技能者の育成を行う育成プログラムの作成に向けて、着実に検討を進めている。				
	<input type="radio"/>	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。					
	<input type="radio"/>	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。					
	※類似事業名とその所管部局・府省名						
	<input type="radio"/>	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
点検結果	<p>入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議いただいている。 【前回の指摘を踏まえた執行上の改善】 業務発注に際し、入札参加条件の緩和を行っている。</p>						
予算監視・効率化チームの所見							
一部改善	事業効果の十分な検証が必要である。又、入札参加企業が少ないことから、入札条件の緩和など、より一層競争性の向上を図るべき。						
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)							
執行等改善	予算執行については、参加条件の緩和を行い、競争性の向上を図る。また、一定の事業成果が得られた段階で適切に検証を行う予定である。						
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）							
関連する過去のレビュー・シートの事業番号							
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	25				

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

**国土交通省
24百万円**

諸謝金	0.04百万円
職員旅費	0.25百万円
委員等旅費	0.20百万円

専門技能者育成に効果的な育成メニューと技能達成度を評価するための評価方法を開発するとともに、技能習得に意欲的な若手に技能習得の場を発注者から提供することで、高度な技能者の育成を行う仕組みを検討する。

【企画競争入札】

A.

(財)先端建設技術センター

B.

(社)日本建設機械化協会

無人化施工の熟練者の定義を明確化し、現状のオペレータ数と目標数を整理。また、技能を判定する実技試験の内容を整理した。

ICT建設技術について、その活用に必要な技能、ノウハウ、留意事項について、整理した。

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(財)先端建設技術センター			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	人件費	14			
	計		14	計		0
B.(社)日本建設機械化協会	B.(社)日本建設機械化協会			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	人件費	10			
	計		10	計		0
C.	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)先端建設技術センター	無人化施工の熟練者の定義を明確化し、現状のオペレータ数と目標数を整理した。また、技能を判定する実技試験の内容を整理した。	14	2	99.92%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本建設機械化協会	ICT建設技術について、その活用に必要な技能、ノウハウ、留意事項について、整理した。	10	2	97.71%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					